

作成日 2025 年 2 月 13 日  
(最終更新日 20 年 月 日)

## 「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 2024-1-1004

課題名 : 社会的ハイリスク妊産褥婦に対する多職種チームにおける支援の実態

### 1. 研究の対象

2019年1月～2025年2月に当院総合周産期母子医療センターで出産され、社会的ハイリスク妊婦であると判断され妊娠中～産後に多職種チームの支援が行われた方

### 2. 研究期間

2025年3月(研究実施許可日)～2028年3月

### 3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 2025年5月1日

提供開始予定日 : 該当なし

### 4. 研究目的

何らかの理由で子育てに困難を抱えると予想される妊婦を社会的ハイリスク妊婦と呼びます。そのような社会的ハイリスク妊婦には、多職種で構成されたチームによる支援が提供されることが重要であり、東北大学病院でもそのような形で支援が行われています。今後、この支援をより充実させていくには、社会的ハイリスク妊婦に対しこれまでに実施した支援内容や、支援を受けた妊婦の妊娠分娩経過や産後のメンタルヘルス、育児実施状況、それと関連する妊婦の属性や家庭環境などの要因を明らかにしていくことが必要です。そこで、本研究は以下の目的で研究を行います。

- 1) 妊娠期から産後1か月健診までの、社会的ハイリスク妊産褥婦に対する多職種チームによる支援内容を明らかにします。
- 2) 多職種チームによる支援が行われた社会的ハイリスク妊産褥婦において、妊娠分娩経過、産後1か月までのメンタルヘルス(産後うつ状態や児への愛着障害)や育児実施状況との関連要因を検討します。

### 5. 研究方法

通常の診療の範囲内で診療録・助産録に保存された属性、妊娠・分娩に関する情報、ソーシャルサポートに関する情報を収集します。得られた情報は、個人が特定できないように匿名化し、統計学的に分析・検討します。

### 6. 研究に用いる試料・情報の種類

通常の診療の範囲内で診療録・助産録に保存された属性、妊娠・分娩に関する情報、ソーシャルサポートに関する情報を使用します。

- ・ 属性(年齢、身長、婚姻状況、最終学歴、被虐待歴、経産婦の場合、上の子の養育の有無、妊娠前の法的制度の利用状況[生活保護、障害者手帳等])

- ・ 妊娠に関する情報（妊娠分娩歴、既往歴・合併症、不妊症治療歴、妊婦健診初診週数、妊婦健診の受診状況、母体搬送の有無、母親学級受講の有無）、妊娠中と産後のエジンバラ産後うつ病質問票、赤ちゃんへの気持ちの質問票
- ・ 出産に関する情報（出産週数、分娩様式、分娩所要時間、分娩時出血量）
- ・ 新生児の情報（出生時と退院時の身長・体重、頭位、胸囲、腹囲）、小児科入院の有無と診断名・治療内容、光線療法の有無）
- ・ 産後入院中（早期母児接触の有無、母児同室の有無、育児状況、授乳状況、母児退院の有無、退院先）
- ・ 産後健診（受診の有無、児の体重、育児状況、育児支援の状況）
- ・ 多職種チームにより行った支援の情報

## 7. 外部への試料・情報の提供

該当しません

## 8. 研究組織

本学単独研究

## 9. 利益相反（企業等との利害関係）について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

外部との経済的な利害関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。使用する研究費は、運営費交付金（ウィメンズヘルス・周産期看護学分野）です。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

## 10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究に関する照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

### 研究窓口

所属：東北大学大学院医学系研究科 ウィメンズヘルス・周産期看護学分野

氏名：小寺由理

住所：〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1

連絡先

TEL：022-717-7957

E-mail：yuri.kodera.c7@tohoku.ac.jp

**研究責任者**

東北大学大学院医学系研究科

ウィメンズヘルス・周産期看護学分野 教授 吉田美香子

**◆個人情報の開示等に関する手続**

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

- 1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

- 2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは、請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

**※注意事項**

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

- ① 研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ② 研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③ 法令に違反することとなる場合